

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

外部評価の結果

事業所名 グループホーム **平 津**

日付 平成16年4月15日

評価機関名 有限会社
アウルメディカルサービス

評価調査員 薬剤師・介護支援専門員
看護師・大学福祉系講師

[自主評価結果を見る](#)

[評価項目の内容を見る](#)

[事業者のコメントを見る\(改善状況のコメントがあります!\)](#)

講評 全体を通して(特に良いと思われる点など)

医療法人アスカ会が母体であり、スタッフが不安なく介護に取り組めている。
病院改造型のために、構造的には家庭的な雰囲気の出にくい面があるが、スタッフの前向きな対応により、穏やかで優しい風がホーム内を吹き抜けるような雰囲気が作り出されている。

ホームの理念をスタッフが共有できており、声かけ、視線等で入居者一人ひとりの人格を尊重していることが理解できる。

入居者一人ひとりの生活歴を考え、その人が生き生きと生活できる楽しみは何かを考え、実践していることにより、その人らしい生活への援助ができています。

改善の余地があると思われる点
情報の共有のための申し送りは、プライバシー保護のためにも入居者のいない場所で実施してほしい。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目 グループホームとしてめざしているものは何か 人格を第一に、人としての尊厳を基本に、入居者一人ひとりの生活歴を考え、その人にあった家庭を提供できるように、誠実に対応することをモットーとして、信頼されるホームを目指している。			

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か 特に落ち着いて生活できる場としての強調をするのではなく、"家庭として"を原点にして取り組んでおられる。			

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か その人にできることを見つけ、すこしでもやりがいのある生活を援助できるように取り組まれている。			

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目 サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 職員間の情報を密に、トラブルのないようにするため、定期的な勉強会の実施がなされている。			